

園 学校だより

令和2年1月20日
横浜市立原中学校
校長 関 宣也
tel 391-0461

No. 9

よく光る 高嶺の星や 寒の入り 村上鬼城

関宣也

令和2年の幕開けです。

謹んで新年のお喜び申しを申し上げます。

昨年は保護者や地域の皆さんにいろいろとお世話になり、心からお礼を申し上げます。本年も本校の教育活動に一層の御理解と御協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

さて、冬休みも終わり本年度は残り2か月と少し、それぞれの学年の締め括りをする大切な期間です。めあてと決意を持って一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。特に三年生は、卒業前に乗り越えなくてはならない大きな壁が立ちはだかっています。その壁は自分一人で乗り越えなくてはならないものではありませんが、同時に皆で力を合わせて乗り切るものでもあります。学級や学年の仲間と一緒に頑張るから自分も頑張れるという側面があります。お互いに支え合って中学校最後の壁を全員の力で乗り越えていってほしいと心から願っています。

年末部屋を片付けていたら、安積得也（あずみ とくや）さんという方が書かれた本が出てきて、休憩をしながらその本を読んでいたらこんな詩が書いてありました。



光 明

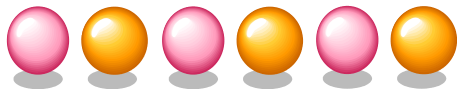
自分の中には 自分の知らない自分がある
みんなの中には みんなの知らないみんながある
みんなえらい みんな尊い みんなみんな天の秘蔵っ子

この「光明」という詩は、人間の中には、自分でさえ気づかない可能性や能力、才能がいっぱい詰まっていることを教えてくれています。しかし、自分の中にある素晴らしいものに気づくことは、なかなか困難と言えます。人間には「自分の知らない自分」、「未知の我」が存在し、生きるということはそれを発見する過程であるとも言えます。

中学生の中には、壁にぶつかってそれを乗り越えられず、自分には力がない、そんな自分が嫌いだというふうに関じ、自尊心を低くする生徒が多くいます。これは思春期にある中学生の一つの特徴と言えるかもしれません。一人一人の生徒は、それぞれ素晴らしいものを多く持っていると思います。

この一年、生徒には自分自身を信じて、自分の持っている才能や可能性を一つでも多く気づいてほしいと願っています。生徒一人一人の大いなる可能性を信じ、教職員一同精一杯応援したいと思っている次第です。

*安積得也：1900~1994 東京都出身。内務官僚、社会評論家、詩人。主な著作：「われら地球市民」「詩集一人のために」



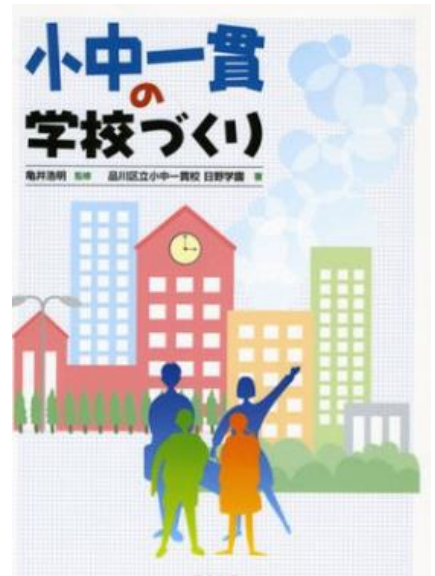
小中合同授業研究会

原中ブロック 3 校（原中・原小・三ツ境小）では、共通した目標のもと、小中 9 年間をかけて児童・生徒の教育活動を行うため、授業研究会や小中合同協議会を行っています。今年度は、9 月 26 日に 2 校の小学校の先生方に中学校へお越しいただき、授業の参観と協議を行いました。また、12 月 20 日には中学校職員が 2 校の小学校へ伺い、同様に授業の参観と協議を行いました。

3 校では、児童・生徒が主体的に授業に取り組む姿を目指し、授業のありようを研究するとともに、同じ地域に通う児童・生徒の教育に関わる者同士として共通理解・共通見解をもって教育活動にあたっています。

2 月 8 日（土）には、新入学を控える 6 年生とその保護者を対象にした授業参観、および新入生オリエンテーション（新入生説明会および体験）を行います。

新 1 年生が、入学前に中学校の生活や学習、部活動に触れることで、中学校への理解が深まり、安心して入学式の日を迎えてくれることを願っています。



（小中一貫教育推進担当 藤田恵一郎）

バレーボール部

原中学校の女子バレー部は、古くから市内の強豪校として活躍をしてきました。今年の夏のチームは関東大会出場を目指してがんばってききましたが、第 1 シードチームの壁に阻まれてしまいました。初心者から始めた 2, 3 年生もレギュラーとして活躍し、その力を十分に発揮し、市大会は決勝に進出することができました。

新チームも明るく、仲良く練習に励んでいます。夏ほどの結果は残していませんが、部員それぞれ自分の持ち味を生かせるように練習に励んでいます。秋の市大会や練習試合などでは、強豪チームにも善戦し、確実にレベルアップし、また自信をつけつつあります。練習試合に参加したときには、市内外の顧問の先生方から励ましのアドバイスをいただいています。

今後とも支えてくださる家族、他のチームの選手・顧問の先生、応援してくれている原中の先生方の期待に答えられるように、バレーボール選手としてはもちろんのこと、原中学校の生徒として、模範になるような行動ができるように日々がんばっていきたいと思います。

（バレーボール部顧問 濱崎光雄）



防災訓練

原中学校では年 3 回の避難訓練を実施しています。春と冬の火災訓練では、瀬谷消防署のご指導・ご協力により、ブラインド訓練を 2 年前から実施しています。これは、「職員の役割分担を決め、マニュアルに従っての実施では本当の発災時に対応できない。」という消防署のご指摘によるものです。阿久和消防出張所のご協力、煙感知器を作動させ、実際に煙を出して避難するものです。出火場所は生徒も職員も知らない、臨機応変かつ安全第一の対応が求められ、問題点を洗い出していくような訓練になります。



職員は事前分担ができないので職員室に分担カードを常置し、発災時には速やかに役割分担と対応ができるようにしています。生徒の方も熱心に取り組んでおり、反省アンケートにも「非常階段が狭く非難に時間がかかる。」「3年生の3階の教室は避難経路が限られる」など、意識の高い意見が出てくるようになりました。

8月の訓練では地震についてですが、大きな地震が起きていること、関東地方の大規模災害が予想されていることなどを踏まえ、生徒の反省にも、「学校だけでなく家でも防災グッズを準備したい」「近所のお年寄りなどの手助けをしたい」などと書いてくれる生徒がいます。

来年度も職員のスキルアップと生徒の防災意識を高めていきたいと思います。（防災担当 濱崎光雄）

職員室にある分担カードの一部

火事	火事	地震	地震
本部設営2	消火栓操作	出席簿搬出	B棟1階巡回
<small>メガホン 冷蔵庫上 旗 副校長後ろ トランシーバー 副校長前柱・生徒指導 室</small> 本部開設可能場所に行き、そのまま本部設営。 本部設営場所優先順 ①グラウンド(火元から最も遠い場所) ②体育館③職員室④他の場所	消火器 相談室大の入り口左側 消火栓 ホース上のポンプの起動スイッチを押す。距離が遠ければ教室の職員を一人呼び、伝達係になってもらう。	1, 2年柱の横 3年窓際進路棚左レターケース横	持ち物 トランシーバー 誰でもよい 各部屋の状況把握 通行可能かの確認 けが人の状況報告 体育館の状況把握

夏の部活動

原中学校の部活動は、ご家庭のご理解と地域の方々の応援により活発に活動しております。なかなかご紹介する機会に恵まれず時季外れになってしまったことをお詫びいたします。今後も温かいご声援をお願いいたします。

部活名・委員会名	名前	種目	成績
陸上競技部	蕨 唯香	女子 100mハードル	全国大会出場
陸上競技部	蕨 唯香	女子 100mハードル	関東大会6位
陸上競技部	水谷 朱莉	女子共通4×100m	関東大会出場
陸上競技部	佐藤 未唯	女子共通4×100m	関東大会出場
陸上競技部	蕨 唯香	女子共通4×100m	関東大会出場
陸上競技部	渡邊 萌絵	女子共通4×100m	関東大会出場
男子バスケットボール部			関東大会出場
男子バスケットボール部			県大会準優勝
男子バスケットボール部			市大会優勝
女子バレーボール部			県大会出場
女子バレーボール部			市大会準優勝
バドミントン部	及川 輝明	男子シングルス	県大会出場
バドミントン部	及川 輝明	男子シングルス	市大会5位
放送委員会	串崎 菜々美		全国放送コンテスト朗読の部出場
水泳部			県大会出場
吹奏楽部		横浜吹奏楽コンクール	銅賞
合唱部		NHK全国学校音楽コンクール	奨励賞

校内書き初め展

冬休みが終わり、各クラスには冬休みの課題となっていた書き初めが掲示されています。

書き初めの歴史は古く、平安時代の宮中行事として始まったそうです。江戸時代になると、寺子屋が普及したことにより、一部の庶民にも広まっていきました。元旦の朝に初めて汲んだ水で墨をすり、詩歌を書くという風流なものでもありました。今では字の上達を願ったり、一年の目標を書いたりというのが一般的なようです。

今年度1年生は、「新たな決意」「天地清新」、2年生は「夢を信じる」「功を奏する」「旅立ちの春」、3年生は「友好の精神」「新春に誓う」と素晴らしい作品を書きあげました。学年ごとに「金賞」「銀賞」「銅賞」が選出され、優秀な作品は校長室前に展示されています。また、金賞の中から各学年1点を学校代表として選出し、「瀬谷区中学校書き初め展」に出品します。

今年も丁寧で素敵な作品が多数ありました。来年もみなさんの思いのこもった書き初めを期待しています。
(国語科 峰洋子)



瀬谷区中学校書き初め展

期間：令和2年1月29日（水）～2月11日（火）9：30～19：00（土日月祝は17：00まで）

場

